

登米市農地利用最適化推進委員の推薦又は応募に関する情報（令和8年3月26日時点）

3. 応募

氏名	年齢(歳)	性別	職業	経歴	農業経営の状況	応募の理由	応募する区域
伊藤 秀明	63	男	農業	宮城県上沼農業高等学校卒業（現 宮城県登米総合産業高等学校）、陸上自衛隊入隊、自衛官募集相談員、消防団中田支団長	水稲、畜産（繁殖）	農業の振興及び農地集積の促進を図るため	第13地区
柴田 修	54	男	農業	宮城県米山高等学校卒業（現 宮城県登米総合産業高等学校）、米山水稲部会長	水稲	年々増加する離農者の農地を遊休農地等出ないよう担い手への集積、集約化の推進につとめたいと思い応募しました	第21地区
土生 浩也	65	男	農業	現農地利用最適化推進委員	水稲	地域農業の発展と維持継続に寄与するため	第22地区
高橋 弥寿仁	66	男	農業	宮城県農業短期大学卒業、みやぎ登米農業協同組合入職、農地利用最適化推進委員1期	水稲、畜産（繁殖）	農地等の利用最適化の推進活動を行うため	第5地区
佐々木 武雄	75	男	農業	登米市職員（農業委員会事務局長、産業振興課長）、登米市農業委員1期、農地利用最適化推進委員3期	水稲	策定した地域計画の実現のため、ブラッシュアップに積極的に参画し、持続可能な農業農村を創るため委員として取り組みたい	第17地区
小林 弘幸	53	男	農業	宮城県佐沼高等学校卒業、地元生産組合に就農、（株）アグリジャパン東北設立・取締役	水稲、大豆、稲わらロール販売	これからの若くてやる気のある農業従事者のために、小規模農地や、未相続・所有者不明農地などの整理や離農者の相談等に力を入れて活動したい	第20地区
富栄 隆	47	男	農業	宮城県米山高等学校卒業（現 宮城県登米総合産業高等学校）、農業に従事	水稲、畜産（繁殖）	耕作放棄地を増やさないため	第18地区
鈴木 一義	73	男	農業	宮城県米山高等学校卒業（現 宮城県登米総合産業高等学校）、農業委員6期、農地利用最適化推進委員3期	水稲	担い手への農地の集積・集約化の推進、遊休農地対策	第19地区
千葉 利行	69	男	農業	仙台市職員、退職後は専業農家	水稲	耕作放棄地が増加しないように、所有者の意向を反映した取り組みを行いたい	第10地区
小出 隆則	66	男	農業	認定農業者、現農地利用最適化推進委員	水稲	地域農業の発展に寄与していきたい	第15地区
佐藤 渉	63	男	農業	宮城県農業短期大学卒業、みやぎ登米農業協同組合、農地水役員	水稲	農協において職員として営農事業に従事しておりましたので、業務内容に関心があり、また、これまでの経験が活かせるのではと考えました	第23地区
阿部 勝浩	61	男	農業	愛菜館理事	水稲	地域農業への貢献、遊休農地対策に力を入れたい	第11地区
門脇 昭雄	71	男	農業	登米市農業青色申告連合会元会長、迫町農業青色申告会会長、佐沼地区防犯協会連合会副会長、森防犯協会会長、登米市卓球協会会長、登米地域福祉活動計画策定委員、東表行政区前区長・現副区長、少年補導員協会前会長	水稲、畜産（繁殖）、露地野菜	農業教員の経験を活かし、地域農業の発展に寄与する	第1地区
佐々木 尚	56	男	農業	農地利用最適化推進委員3期	水稲、馬鈴薯	今までの経験を活かし、地域計画活動をしたい	第13地区
青山 信一	75	男	農業	元登米市職員、農地利用最適化推進委員1期	水稲、露地野菜	地域農業の集積、集約化の手助けをしたい	第9地区

氏名	年齢(歳)	性別	職業	経歴	農業経営の状況	応募の理由	応募する区域
佐藤 啓	72	男	農業	農地利用最適化推進委員 3 期目	水稲	遊休農地の発生防止、解消に努めたい	第 1 1 地区
菅原 繁亀	66	男	農業	北上川沿岸中田地区土地改良区総代	水稲、野菜(胡瓜)	遊休農地の対策等尽力していきたい	第 1 3 地区
千葉 久三男	70	男	農業	現農地利用最適化推進委員	水稲、花卉	登米市農業の衰退の防止、発展への協力	第 3 地区
白鳥 剛	44	男	農業	宮城県築館高等学校卒業、専門学校デジタルアーツ仙台卒業	水稲	地域農業の維持・発展に貢献したい	第 2 5 地区
及川 勇人	51	男	農業	現農地利用最適化推進委員、農業共済部長	水稲	現在、私が暮らす地域での農業情勢が高齢化及び担い手不足により著しく衰退していく中で、農地利用最適化推進委員を勤めさせていただいております。遊休農地の減少や地域内での農業を取り巻く環境をより良くして行きたい為、この職務を継続していきたいと応募します	第 8 地区
佐藤 武美	66	男	農業	実行組合長、柳沢環境保全会	水稲	現在、JAの実行組合長や環境保全会をしておりますが、地域においては人口減少や高齢化による農家の担い手不足が大きな問題となっております。少しでも地域社会の発展に貢献できればと思い応募いたしました	第 2 4 地区
渡邊 伸	45	男	会社役員	大阪工業大学卒業、(株)ワンズ代表取締役	ネギ	地域農業の発展のため、遊休農地の削減に努めたい	第 2 3 地区
遠藤 源一	73	男	農業	宮城県立栗原農業高等学校卒業(現 宮城県迫桜高等学校)、宮城県農協講習所終了、みやぎ登米農業協同組合入職、登米市会計年度任用職員(9年)、農事組合法人ブラッサム代表(令和1年~)	水稲	地域農業発展のため、遊休農地の発生防止及び削減に努めていきたいと思い応募いたしました	第 3 地区
池田 幸哉	71	男	農業	農業共済部長(石越地区部長会長)	水稲	石越地域の遊休農地の発生を抑制し、農業生産を図るため、農地の集積・集約化に努めたい	第 2 2 地区

※ 内容は、候補者推薦書又は応募届出書に記載のとおりとしています。